



坂戸市立南小学校 笑顔・感動・花いっぱい 夢道場・南小だより

【学校教育目標】

- やさしく (徳)
- かしこく (知)
- たくましく (体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和6年1月10日
第31号 文責 鈴木 博貴

令和6年・新たな年の幕開け「本年もどうぞよろしくお願いたします」

新たな令和6年(2024年)が幕を開けました。明けましておめでとうございます。各ご家庭では、新年を健やかに迎えられたことと存じます。昨年も、本校教育への深いご理解と多大なる温かいご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。令和6年1月9日(火)、3学期始業式。心配していた事故や事件も無く、元気な南っ子たちの笑顔が学校に戻ってまいりました。本当に嬉しいかぎりです。今年度も残り僅か3か月。今年度の「まとめの3学期」であると共に、次のステージ(=進学・進級)に向けての「準備の0学期」という重要な時期でもあります。教職員一同、今年も気持ちを新たに一丸となって頑張ってまいります。本校の目指す学校像「笑顔 感動 花いっぱいの夢道場・南小」【チーム南小】のさらなる発展のため、引き続き保護者・地域の皆様の変わらぬ温かいご支援ご協力を何卒お願いいたします。

大切な『まとめの3学期=次のステージへの0学期』 **Let's Challenge!** 挑戦の年に!

【3学期始業式・校長講話より】 おはようございます。まず、皆さんもニュースを見て悲しい気持ちになったと思いますが、元日に起きた能登半島地震でたくさんの方々がお亡くなりになりました。また、今もなお、家が壊れ、避難所で生活している方々が大量いらっしゃいます。改めて「命の大切さ」を真剣に考えるとともに、被害に遭われた皆さんの安全・安心や健康、そして早い復興を願いたいと思います。

三学期のスタート

さて、3学期が始まりました。誰一人事故や事件に遭うことなく、皆で元気に会えたことを本当に嬉しく思います。この冬休み中の生活はどうでしたか？南小・冬休みの合言葉『かがみもち』を守って、充実した冬休みを過ごせましたか。

新しい年、令和6年(2024年)は、干支で言うと「辰(たつ)年」ですね。皆さんは十二支を言えますか。【子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥】。1年生の皆さん、言えるようになったら校長先生に教えにきてくださいね。どうして、この順番になったのか。昔、中国から伝わった面白いお話を知っていますか？神様が動物たちに言ったお告げ。「1月1日の元旦、私のところに新年のあいさつに出かけてきなさい。一番早くきた者から十二番目の者までは、順にそれぞれの一年間、動物の大將にしてあげよう」。十二支は、1番になったネズミの「子年」から始まり、「辰年」は5番目。「辰」は、「龍」のことです。12の動物の内、龍だけが想像上の動物ですね。辰年は、昨年「卯年=ウサギ年」の「(門から)とび出る、飛躍する年」から、「辰年」は「龍が天高く昇っていき、よい空気が動いて、大きく成長できる年」だそうです。南っ子の皆さんも、「挑戦と努力」で、たくさん成長できる年になれば嬉しいです。



2学期の終業式でもお話ししたように、3学期は、今の学年の「1年間のまとめの学期」。そして、1年生から5年生は、次の一つ上の学年に進級する、6年生は中学校に進学する「次のステージに向けての大切な準備の【0学期】」です。1年生から5年生の皆さんは学年が一つ上がって、どんなお兄さん・お姉さんになりたいですか？6年生の皆さんは、南小の第44代卒業生として、卒業までの残りの期間に何を残していきたいですか？そして、新たにどんな中学校生活を送りたいですか？「一年の計は元旦にあり」。皆さんが、元旦に「自分は、これを頑張るぞ」と誓ったことを大切にしてくださいね。そして、これからも、仲間を大切にしながら絆や友情を育み、学び合うことで自分をさらに高め、自分の夢に向かって『レッツ・チャレンジ!』、『(最初からあきらめないで)挑戦するぞ!』の気持ちで、是非、『挑戦し続ける1年』にしてほしいと思います。最後に、今年度も残り3か月。最後を素晴らしい成果で締め括るため、一人一人が「3学期のめあて」をもって、一日一日を大切にカー杯取り組み、全員で協力し合って、南っ子の合言葉『やさしく かしこく たくましく』がさらに高まることを期待しています。3学期も、南小の全員の先生方、お家や地域の皆さん全員で、「頑張っって挑戦している皆さん」を応援していきますね!



【2学期終業式・児童代表の言葉『3学期も決意新たに！』】

2学期終業式。本校児童代表2名(2年生・4年生)が、全校で2学期を振り返っての頑張りや3学期に向けての決意を立派に発表してくれました。全校児童たちも発表をしっかりと聴きながら、自分自身を振り返り、3学期への新たな決意を胸に抱いたことと思います。代表児童の発表を改めてご紹介します。



『あきらめなかった2学期』 2年 □□□ □□

私が2学期を振り返って心に残ったことは、持久走大会と鉄棒です。

持久走大会でお友だちに「あきらめないでがんばろうね。」と言われたので、私は、あきらめずに最後までがんばりました。1年生の頃は14位で、2年生では16位に下がりました。けれどタイムを見ると、3秒早くなっていたので、ほっとしてうれしくなりました。体育の授業や業間マラソンでがんばってよかったです。手をよく振ったり、足の動かし方を考えたりして一生懸命に走りました。来年の持久走では距離が延びるけど、また「最後まであきらめないでがんばりたい」と思いました。

2つ目は、鉄棒のことです。私は、空中逆上がりができるようになりたいと思っていました。やってみようとしても怖くてなかなかできませんでした。けれど、勇気を持って空中逆上がりを試みたら、できそうになりました。あきらめずにもう一度チャレンジしてみたらできました。さらに、空中逆上りの連続5回以上をやりたかったのですが、やってみたら3回できました。私が空中逆上りを練習していたらお友だちが来て、私に「すごいね。もう一回やってみせて。」と言ってくれました。やってみたら想そう以上にできました。3学期は、もっともっとダルマまわりもやってみたいです。

3学期も、いろいろなことにチャレンジして、あきらめずにがんばりたいです。

『2学期に頑張ったこと』 4年 □□ □□

ぼくが、2学期でがんばったことは3つあります。

1つ目は、算数の学習です。2学期はがい数や分数などを習いましたが、がんばったのが計算のきまりです。家庭学習のさかろんノートなどでも予習したりしました。この学習は、かっこを先にやる、掛けるや割るは、たすや引くより先に計算するなど習いました。結合のきまりや交かんのきまりなどが難しかったけれど、計算ドリルなどで覚えて、テストで100点を採れたのでうれしかったです。

他にも分からないお友だちに説明したりするときは、答えは教えずに、考え方を教えるようにしました。そして分かってもらった時は、とてもうれしかったです。

2つ目は、係活動です。2学期は1学期と同じマンガ係になりました。ぼくが思うマンガ係のいいところは、マンガを描くうちに絵がうまくなったり、想像力や発想力が豊かになったりするところです。でも1学期はあまりマンガを描けませんでした。そこでぼくはマンガ係の意味を考えてみました。それは「マンガを読んでくれるみんなを笑顔にすることなのではないか」と思って2学期は5巻も出すことができました。遊べるものとしては、マンガのキャラクターが友だちのためにオバケを倒す玉当てゲームを作り、好評でよかったです。1学期の後悔を2学期に克服できてよかったし、みんなを笑顔にできてうれしかったです。

3つ目は、市内音楽会です。市内音楽会では、校内音楽会と同じ『ゆうき』の合唱と『朝はモーツァルトが』の演奏をしました。『ゆうき』は、きれいな声で明るく元気に歌うことができました。「歌は一冊の本だと思ってください。」先生は、そう言っていました。「本は場面ごとにシーンが変わる」。歌も一緒でした。伴奏はもちろん、声を明るく歌うところ、すごみのある声で歌うところ、歌詞の意味ごとに声を変えることができました。『朝のモーツァルトが』も音を覚えたり、息を半分にしたりするなど大変でした。練習の時は何回も間違えたけれど、本番では間違えなかったので練習の成果が出せたと思います。この経験を来年の音楽にもつなげようと思いました。

最後に3学期にがんばりたいことは理科です。3学期では、「もののかたまりかた」や「水のゆくえ」について学習するので、安全に実験や記録をしたいからです。



【校長室より】 新たな年を迎えて～さらなる『笑顔 感動 花いっぱい』の夢道場を～

南小の校長として迎えた2度目の元旦。昭和55年開校以来44年の伝統を継承しつつ、「令和の日本型学校教育」の構築への「挑戦」を意識して全教職員で教育に当たってきた。目指す学校像として着任時に掲げた『笑顔 感動 花いっぱい』の夢道場・南小。「全ては子供たちのために」という共通の熱い想いのもと、保護者・地域・関係の皆様との協働の力で、この言葉に相応しい子供たちの姿をこれまで沢山見ることができた。数多の笑顔と感動、集団生活の学び舎(=道場)で互いに切磋琢磨、協力し合い、夢を追いか求めながら自分だけのかけがえのない花を咲かそうと懸命に頑張る姿。校長職に就いて今年で11年目。孟子由来の言葉「集大成」にしたい。次代を担うかけがえのない大切な子供たちの姿を思い浮かべ、『挑戦』を胸に心を引き締めて臨んだ初日の出。／「諦めたらそこで試合終了ですよ！」(安西先生の言葉)